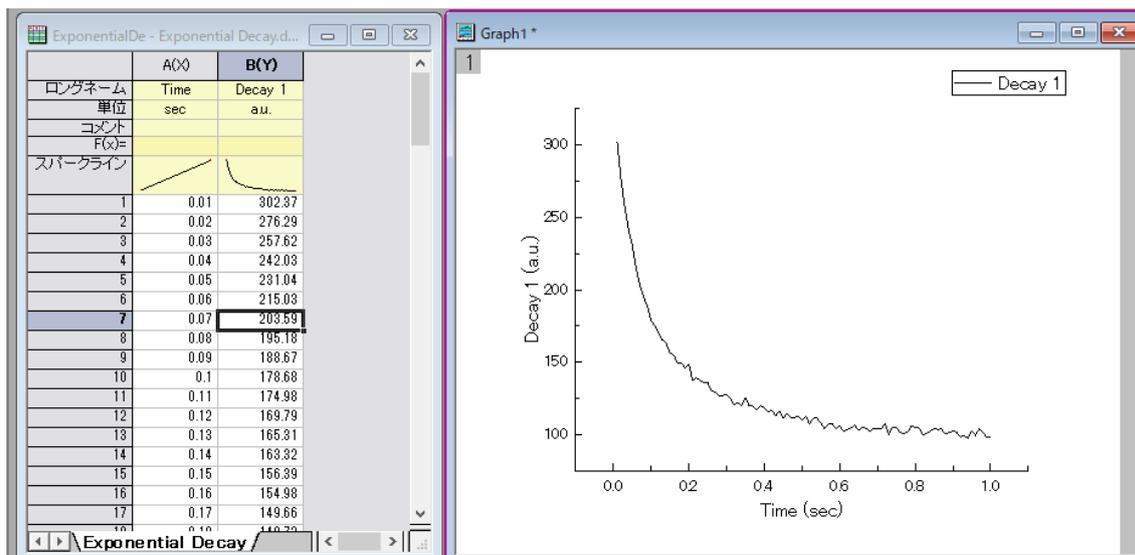


軸の編集方法

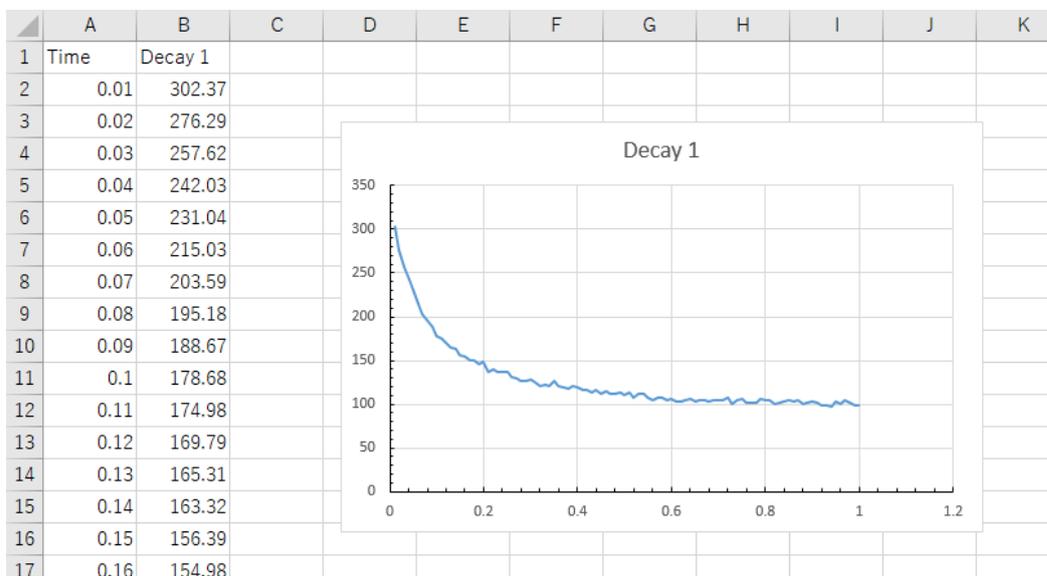
軸の設定を変更する際に Origin と Excel でどんな操作手順になるか比較しました。今回は XY 軸両方の目盛の表示方向を外側から内側に変更してみます。

※使用した各ソフトウェアのバージョン：Origin 2021b、Excel 2016

Origin

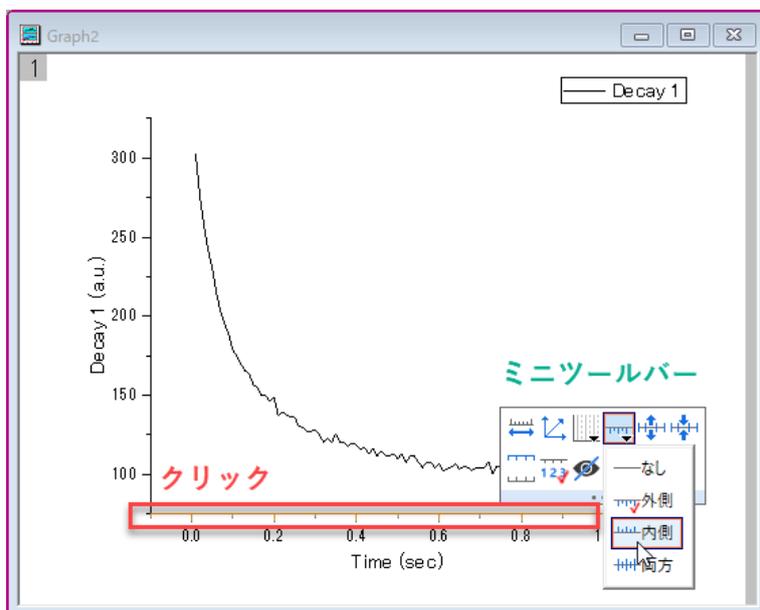


Excel

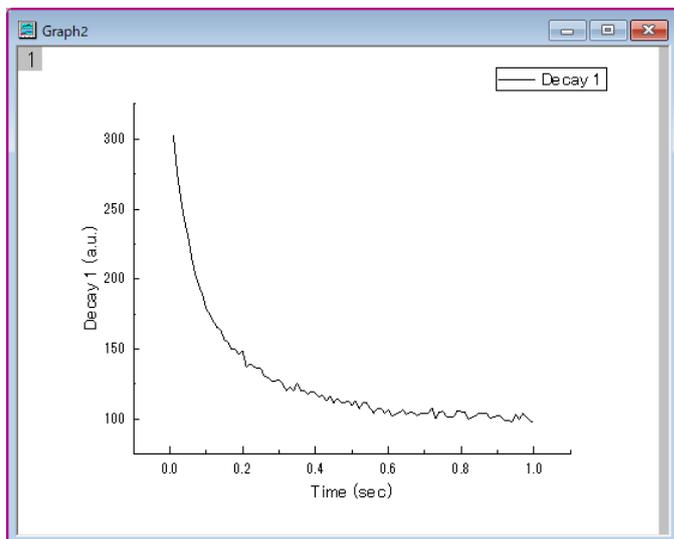


Origin の手順

1. グラフが作成されている状態でグラフ上の X 軸をクリックするとミニツールバーが開きます。このミニツールバーから「目盛のスタイル」アイコンをクリックして「内側」に設定すると X 軸目盛が内側になります。

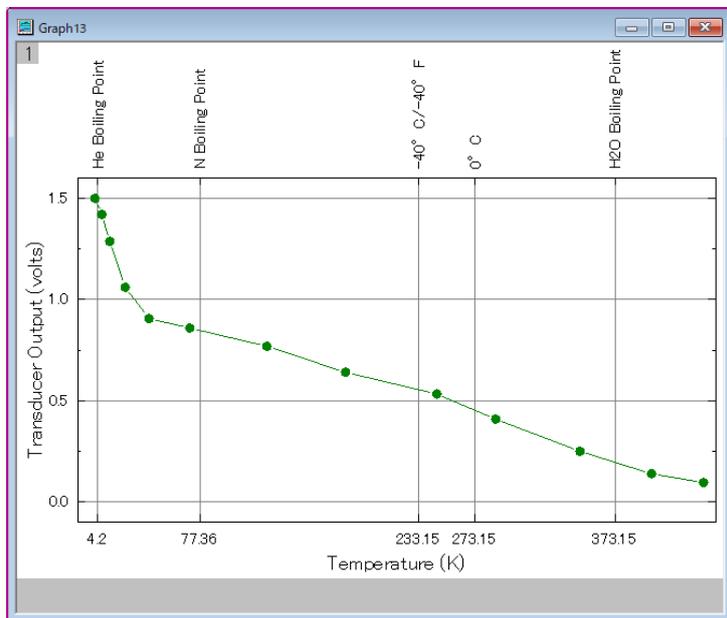


2. 同様に Y 軸でもミニツールバーから内側に設定すると XY 両方の軸目盛が内側になります。



終了

(補足)下軸と上軸で異なる目盛ラベルを表示することもできます。

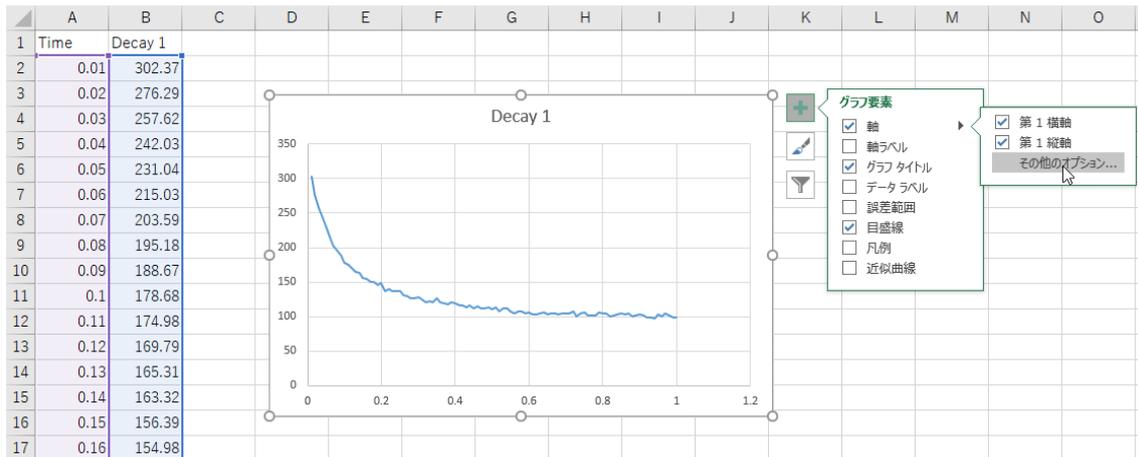


ユーザ定義で任意の位置に目盛ラベルを打つ

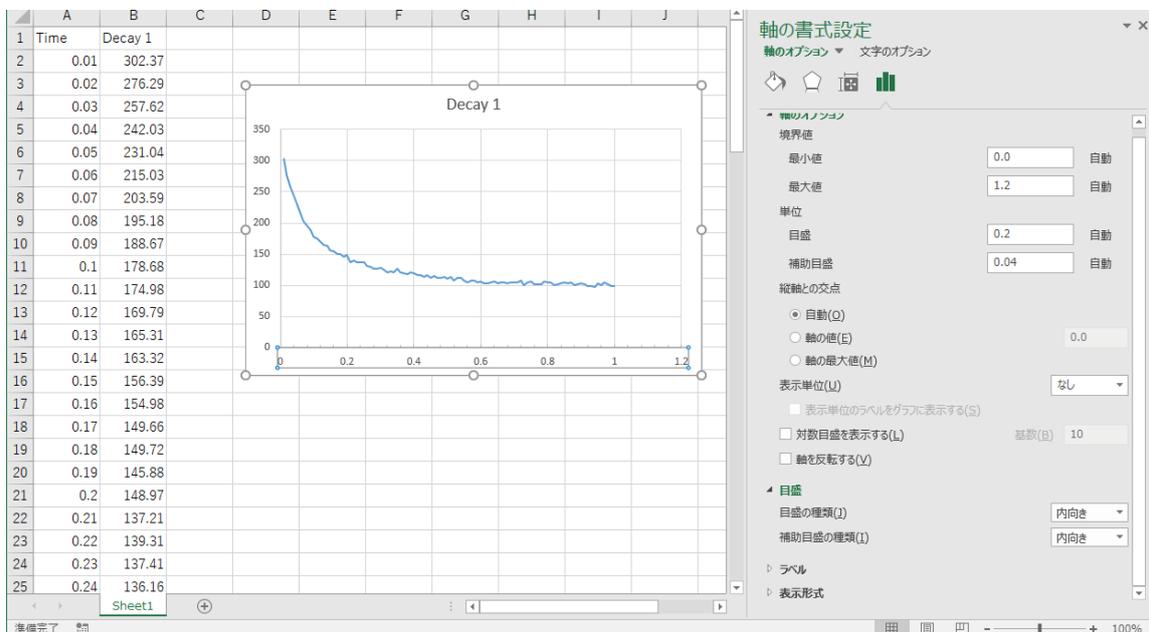
<https://www.originlab.com/doc/Tutorials/UserDef-TickPosition>

Excel の手順

1.Excel ではグラフを作成するとデフォルトでは軸目盛はなしになっていますので、これを内側に変更します。グラフをクリックして右側に表示されるプラスアイコンから軸の右側の三角をクリック、「その他のオプション」で軸の書式設定を開きます。

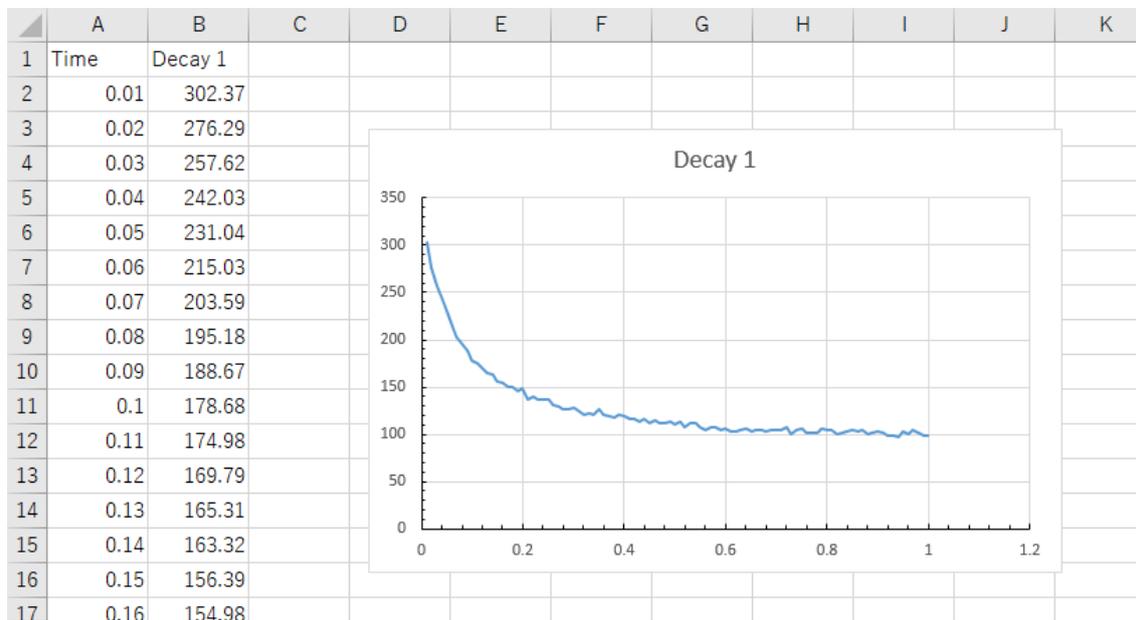


2.軸の書式設定で「軸のオプション」に移動し、目盛項目の目盛の種類と補助目盛の種類を「内向き」に設定します。



3.グラフ上の Y 軸をクリックして Y 軸の書式設定に移動し、同様に目盛の種類、補助目盛の種類を「内向き」に設定します。

(下図ではわかりやすいように軸の色を黒に変更しています。)

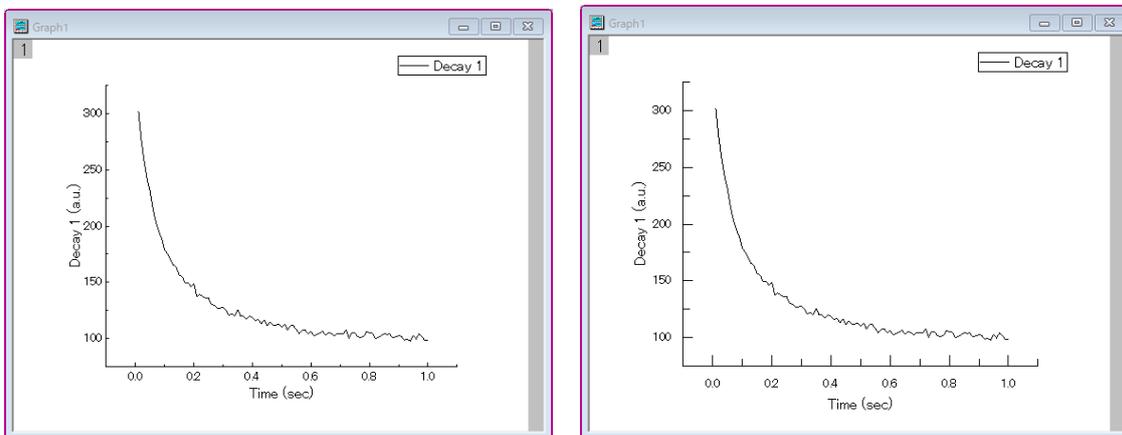


終了

まとめ

Origin でも Excel でも手数はそれほど変わりませんでした。

Origin では軸目盛の長さを調整することもできます。



Origin でその他の軸要素を編集する方法については下記ページをご覧ください。

https://www.lightstone.co.jp/origin/feature/customizing_graphs.html#axis